

維持保全計画（30年間）

点検部位		主な点検項目	定期点検年次 (建築工事完了後)	臨時点検	定期的なお手入れ等	更新・取替の時期、内容		
主要構造躯体	基礎	コンクリート基礎 (立上り部)	10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	—	建替時に更新		
	土台床組	床フレーム・下地			—	建替時に更新		
	軸組横架材	柱(ポスト) 天井フレーム			—	建替時に更新		
	小屋組	屋根束、屋根梁 屋根フレーム、トラス 母屋木、野地板			—	建替時に更新		
屋根・外壁・開口部等	屋根	樹脂シート・ポリスチレン フォーム保温板・木質 系ボード表張/鋼製 下地屋根			10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	外壁	サイディング壁 (窯業系)					15年で全面補修 (シーリング材含む)	建替時に更新
	雨樋	雨樋					15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	軒裏	軒裏天井					15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	開口部	屋外に面する 開口部					日常の調整、清掃	30年以降、全面取替を検討
設備	配管設備	給水管			10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	漏水時は直ちに補修	30年以降、全面取替を検討
		排水管					漏水時は直ちに補修	30年以降、全面取替を検討

留意事項等：

- 地震時や台風等の災害後は、被害状況により、必要に応じた臨時点検を行う。
- 点検結果によっては、劣化状況に応じ適宜、維持保全方法について見直すことができる。
- 長期優良住宅建築等計画に変更があった場合、必要に応じて維持保全計画の変更を行う。
- 点検結果を踏まえ、必要に応じて、調査、修繕または改良を行うこととされている。